

200803 名古屋城全体整備検討会議  
(名古屋市民オンブズマン 作成メモ)

記者3人 テレビ1つ

10:00

鈴木保存整備室長：始める  
佐治より挨拶

佐治所長：名古屋市内患者増加が顕著  
開示時間、ソーシャルディスタンス 防止策に配慮で進める  
遺構毀損事故 調査開始  
再発防止に努める  
現状変更許可が伴うものは、有識者の意見を聞く

鈴木：出席者紹介  
麓、三浦は欠席  
写真ビデオはそれまで  
資料確認  
報告 遺構毀損事故

佐治：6月22日全体会議で承認  
6月26日に文化庁文化財第2課長に提出  
大型プロジェクトを控えている 二度と繰り返さないように  
すべてのもの 万全の体制にする  
西の丸 現状  
7月17日付現状変更許可が出た  
7月24日から工事着手  
他の事業も進めていきたい

鈴木：意見があれば

高瀬：既存の原因の一つ 検討する場がなかった  
整備計画  
どこにも報告もなければ、全体会議にもあがってこなかった  
それが一つの要因だと思っている  
原因 本質的な問題がたくさんある  
五番蔵 平面位置が確認する それがどうなったのか

村木副センター長：五番蔵が毀損しているか調べる  
毀損の有無を調べる  
その結果を踏まえて調査区を広げる

鈴木：検討する場がなかった  
再発防止対策 20 ページー21 ページ  
各段階におけるチェック機能の強化  
今回は適切に諮っていなかった  
今後は有識者の先生のご意見を伺いたい

高瀬：整備部会を立ち上げを検討はどうか  
総合事務所 整備部門と調査部門と別れている  
石垣部会・埋蔵部会の職掌とするのはちょっと違うと思う  
今回の問題を考えると、整備を検討する場がなかった気がする  
それを検討していただけたら

佐治：全体整備検討会議のもとに石垣、庭園、建築部会がある  
全体整備検討会議に諮って、部会におろす  
それはしっかりやって、整備部会は今後検討する

赤羽：1-29 フローチャート  
防止対策のなかでどう位置付けか？  
文化庁に出したのか？

鈴木：出した

赤羽：チェック機能が空欄  
整備をする なんら話がなかった  
こういう事態に発展した  
事業計画の可否、事業の手法について、有識者に意見を聞く  
チェックを設けるべきではないか  
もう一点 工事変更 現状変更を作るのはだれか？  
総合事務所？調査センター？  
どこが作成するのか 調査センターが一元的に集約？意味がわからない

鈴木室長：事業計画段階、調査段階のチェック体制  
内容的に保存整備室と調査研究センターで打ち合わせたい  
チェック体制に書いてない 必要に応じて先生にご助言いただきたい  
現状変更許可 作成から終了までの担当

整備と調査 またがることが多い それぞれで作成している  
提出する段階でセンターでチェックしている

赤羽：最初のほうは言うのであれば表に書くべきではないか

鈴木：検討したい  
2つ目 構成員の増員

佐治：有識者 近世史の専門家を追加したい  
日本近代史 1名  
次回の会議から依頼したい

鈴木：意見は よろしいでしょうか  
続いて議事に入る

瀬口：二の丸庭園発掘調査

10:19

名古屋城：二の丸調査  
31回会議 二の丸庭園について

瀬口：ご意見を

高瀬：資料2-2  
1. 4. 6は園路の真ん中トレンチ  
直交したほうがよいのでは？

名古屋城：今回の調査の目的 江戸期の堀の後  
黒い線 堀を表す 堀跡になるべく直交するかたちでやってる

高瀬：黒い線は現況の園路  
それを当時に戻そうということではないか

名古屋城：太いほうは現有の園路  
下は絵図 境界をはっきり見つけるためにトレンチ  
植栽、構造物があり、どうしても現況園路にトレンチ設定しないとイケない  
可能な限り現況を一般の方見られる方に支障がないように  
絵図にある

高瀬：よほうは元に戻す  
園路も戻すのが筋ではないか

丸山：園路を確定したいためではない  
内堀の位置を確定したいため

洲崎：ポイントや絵を活用して説明していただけるとありがたい

高瀬：堀の位置を確認するため  
堀 復元表示を考えるか？

丸山：まずは堀の位置を確認しないと  
どう整備するかは次の段階  
絵図と発掘で、堀の位置が確定できればよい  
トレンチの長さでいいのか？おっていないとだめ

高瀬：絵図を出していただいている  
地割についても、戻せるものは戻したほうがよい  
園路は舗装されているのか  
両側の側溝があるのではないか  
堀の位置確認も大事だが、園路も戻せるところは戻せるように

丸山：復元的整備 絵図しか残っていない  
堀、園路  
トレンチ 内堀の位置だけでなく、出てきた事実も考えて  
まずは内堀の場所がわからない  
飛び石が出てくるかもしれない

名古屋城：ありがとう  
絵図 真ん中が庭園と整備  
外周 建物や通路  
境に堀があった  
全体のお庭の姿を確認したうえで、園路や地割を確認したい

瀬口：ほかには

赤羽：資料2-1 昭和52年発掘調査がわからない  
これまでの調査経過を蓄積していない  
毀損事故にもつながる

考慮して

調査が散発的 何をするのか？整備

整備を前提とした調査 実をあげていかないといけない

ちっぽけな調査ではだめだ

名古屋城 こまぎれ

小さな調査区を設けて 大きな整備に結び付かない

もっと大局を見た試掘調査

1つ 庭園内の水路 水の処理をどうしていたか

池の水はどう流れているか 茶室がらみの水路

明らかにしていけないと

現在の二の丸庭園の高さ 課題となる

もともとはどれだけ深さがあるのか

当時の二の丸の GL を確かめる

水路を確認する

2つ 名勝の指定 南蛮練堀も指定

面白い施設 これをどうするのか

庭の整備で位置づけるか

南蛮練堀 基礎部分 どうなっているか調査されていない

これからの二の丸調査の課題

名古屋城：水路、南蛮練堀

整備を考えるうえで重要

今後基礎的調査をしたうえで検討

丸山：「ちまちました調査ではなく」

毎年これくらいではなく、もっと発掘調査を広げてほしい

小濱：資料2-5 除伐樹木とそうでないもの

根っこによって移動させられている

樹木の除伐はどういう基準か

庭園としての樹木 往時の樹木か、また変わってきたのか

名古屋城：選択した樹木の理由

庭園の中で、根で石材を傾倒させる

眺望の妨げとなる

通行に支障が出る→除伐したほうがよいだろう

庭園部会の先生方と現地を見て選択した

小濱：絵図から当時の植栽はわかるのか

名古屋城：主要な樹木は木の種類もふくめてわかる  
ある程度検討している  
絵図通りの本数に戻るか？あらためて検討したい

瀬口：二の丸庭園 植栽の姿はいつのころを想定しているのか

名古屋城：絵図を参考 文化文政時  
詳細については検討できていない  
整理したうえでお諮りしたい

瀬口：庭の境界線を確定したい  
2015年 庭の西北部 すでに塀があったかなかったかわかったのか  
それを紹介しては？  
西の丸 ただ掘っただけで何があるか想定していなかった  
今回は意識していれば

名古屋城：塀の礎石と思われるものが何か所か出ている  
三次トレンチ 西北  
二次トレンチ 西北

瀬口：どんなものだったか説明  
3か所礎石が確認した  
どんなものか説明をお願いします

名古屋城：東西方向に礎石が並んでいるのが2石  
間隔が95-100センチ

瀬口：大きさはどれくらいか？

名古屋城：四角いもの30センチ角

瀬口：深さは 地表面から  
今回新しくやるもの 意識をしながらやる  
ミスが少なくなるように思う

名古屋城：深さはすぐに出てこない  
報告書で確認したい

瀬口：発掘場所 6番 庭園内部

堀の位置の確認以外に目的あるのか

9番 何をしようとしているのか

堀が二重になっているのか

10番 堀とは平行

11番 堀が上のほう 奥に引き込んでいる

教えていただくと、何をしようとしているかわかる

名古屋城：6, 11番 できるだけながめにトレンチ設定を

8, 9 現況に側溝があるため別れている

蔵があったことがわかる 蔵の発掘

10番 西端に門跡遺構確認

同じ時期の調査を考えている

瀬口：発掘調査 遺構をなるべく傷つけないように

「なるべくながく」目的は

今年度調査 外周はほぼ確認できるのか？

何年度かやればわかるのか

やっていることが拡大していく

やることを狭めてやってはどうか

名古屋城：今年度調査で、庭園と外延を把握したい

絵図と現状が一致していない

可能な範囲でトレンチを入れざるを得ない

外延と

瀬口：外延と庭園とは？

名古屋城：報告書 1次-3時

北、西は把握している

1. 1メートル 石が堀の基礎と考えられる確認

並行して溝も確認

堀の礎石と溝が出てくると期待したい

瀬口：確定できるのか

名古屋城：確定したい

瀬口：書いておいて

人が変わる

名古屋城：溝、壁の礎石等を目的にしたい

高瀬：塀の位置を確認してから整備を考える

それだと無駄 かなり発掘しないとイケない

どういう形で整備するか想定してから発掘したほうが無駄がない

整備どうするのか 雲をもつかむ状況ではないのではないか

整備をどうするかを考えてトレンチを入れては

名古屋城：今回は外延

内部、外延 今後の整備の方向性と発掘 とともに検討していく

洲崎：図面を確認

9番 蔵があるのか？

10番西端 門がある？わかった

11:00

瀬口：いろいろ意見をいただいた 進めていただきたい

余芳について

名古屋城：余芳

庭園部会と建造物部会の調整会議を設置して意見をいただきたい

仮設小屋を作りたい

瀬口：意見を

小濱：余芳 移築場所

場所は推定 余芳の遺構は？

名古屋城：建物そのものの遺構は見つかっていない

手水鉢の痕跡はあった

位置は検討を進めていきたい

小濱：手水鉢の遺構が残っている

その近くだろうということか

名古屋城：余芳 池や橋の場所なども根拠に



小濱：余芳復元 庭園は？

名古屋城：建物しか書いていない  
飛び石、植栽は戻したい

瀬口：高さは方向が出ているのか  
建物の GL を決めないと  
堀の関係、南蛮堀 高さ関係はどう考えているか

名古屋城：高さ 発掘調査で遺構面は確認  
構造的な検討  
余芳そのものだけでなく地形的なもの  
先生と検討

瀬口：仮設小屋について意見なし  
進め方について意見があった  
全体整備検討会議で報告して  
次 二の丸地区の発掘調査について

佐治：1時間たったので休憩いただけないか

瀬口：11：21まで休憩  
11：11

11：19

瀬口：再開したい  
二の丸地区発掘調査について

調査研究センター伊藤：二の丸地区  
全体整備検討会議にいうのははじめて  
資料4-2  
青色の線が二の丸地区  
告示はされていない  
地下遺構調査  
愛知県新体育館 令和7年度から新体育館  
遺構の残存状況

調査研究センター佐藤：二の丸地区試掘  
資料4-7~12

平成 30 年～令和元年度までやった  
資料 4-9 および 12 書いてある黒い点  
未告示地区  
資料 4-9 二の丸御殿と馬場周辺建物  
トレンチの位置を落としたもの  
平成 28 年内部資料に馬場などを追加した  
近世の遺構の確認を目的  
この地区 近世遺構だけでなく、軍関連 50 棟  
二の丸と併存  
陸軍時期の建物  
歩兵第六連隊の図  
昭和 23 年航空写真を参考にした  
二の丸遺構を確認  
近世の遺構 近代遺構も調査実施している  
調査方法 トレンチ 2×4メートル  
連続近世 人力で掘削  
文政期遺構面まで  
陸軍関連 掘削を行い、遺構の性格を確認し埋め戻し  
調査成果 資料 4-8  
資料 4-7 概要  
二の丸御殿の基礎と考えている  
陸軍関連  
土管の上に敷石 近代の遺構面と考える  
写真 4 中央に石組溝 プラスチックなど遺物  
近代までさかのぼる溝  
資料 4-10 赤の丸のトレンチ

11:33

瀬口：質問意見お願い

高瀬：二の丸調査 この後いつまで続くのか長期にわたる  
調査をした後、まだどうするという見通しを立てるのは難しい  
くろがね門 櫛形が失われている  
私は復元したほうがよい  
いつかの時点でやったほうがよい  
整備の方向性を見極めてから調査したほうがよい  
地割を復元していく  
そのためにはかなり地割を復元するといっても  
いろんなところの確認が必要

長期にわたる調査を見据えて、どういう風に

名古屋城：長期にわたる調査を踏まえ、今後検討

赤羽：資料4-1

目的は何か？5行半の長い文書

告示を目指す 構想を策定する

調査成果 基礎資料

区切っていったいだかないとわからない

告示を目指す すでに国の史跡

体育館があるので未告示

解消すれば告示になる

関係ない話

調査をすれば未告示が告示になるわけではない

明々白々

しっかりわきまえてやっていただかないと

手続き 文化庁がない

周知の埋蔵文化財包蔵地

現状変更許可申請に準じたもの 国庫補助事業がどうしてつくのか

民間の開発に伴って国と県と市が分担

名古屋市のために国庫補助がつくるのか不思議

国庫事業 文化庁に確認してほしい

文化庁は認めて補助金を付けているのか

名古屋市から聞きずらいかも

会計検査院など関与してきたら大変なことになる

4 スケジュール ちまちま発掘調査するより、

体育館がなくなってから、堂々と発掘調査すればよいのでは

来場者保護も今後は必要ない

狭い面積 成果が上がらない

長い目で見て二の丸を見直して

ビジョンのもとに発掘して

ちまちました発掘調査はやめてほしい

瀬口：声を大きくする必要はない

国庫補助事業について意見を

鈴木：国庫補助事業

文化庁に採択していただいたうえで2か年補助を得た

改めて事実関係については文化財保護室を通じて確認したい

瀬口：採択されている？

鈴木：採択されて2か年

瀬口：なにか問題があると自覚しているのか？

鈴木：特に問題があると思っていない

赤羽：周知の埋蔵文化財包蔵地発掘 普通は民間  
そういう発掘調査 二の丸が対象になるのか？

瀬口：洲崎さん、どうか

洲崎：認められているので問題はない

瀬口：県の担当は問題がないと言っている

洲崎：確認したい

鈴木：スケジュール

新体育館取り壊し どのようにしていくのか  
県から公表されたところ  
基本構想 どのようなビジョンを持っていくのか  
小さいトレンチ 準備的な試掘にしかならないが  
基本構想が策定されたら、この場所について予算が  
許す限り調査を行っていききたい

瀬口：愛知県体育館はずっと懸案

北のほうに移動する  
名古屋市もアクションしておきたい  
全体の方向を定めるのは筋  
資料4-8 過去の試掘調査 石の大きさ30センチ  
メートル単位で書くのか？  
鉄平石  
しっくいブロック あるのか？知らない  
建築で使われる用語とは違う  
人造石のこと？塊？

名古屋城：表現

鉄平石 ふたとしておいてある

瀬口：圧力をかけると割れる

名古屋城：40センチくらい 並んで置いてあった

瀬口：成果を伝える時、わかりやすく

高瀬：米軍の写真には兵舎が映っているのか？

名古屋城：映っている

焼失はしていない

高瀬：建物撤去、体育館がたった経緯は整理されたのか？

名古屋城：名古屋大学の校舎として使われた

一部明治村に移築された

細かく報告書等でまとめたい

11:51

瀬口：北面レーダー探査

村木：文化庁指摘事項に基づくもの

画面を見て

大きく2つ

1 工事が石垣に与える影響

2 現状変更を必要とする理由

ア～エ

ア 内堀、御深井丸現況

内堀内発掘調査

レーダー探査

現在石垣部会で審議中

イ 御深井丸地下遺構把握

礎石の保存方法

ウ 北面孕み出し

対応した

エ 背面等の空隙

レーダー探査を計画

内堀御深井丸側石垣について、総合外観調査等を再検討し、  
必要に応じて追加調査検討

調査を行う経緯

5-1, 2

冒頭のところで、今回のレーダー探査の位置づけを書いた  
探査の結果をどうするか

瀬口：ご意見、ご質問は

高瀬：5-1下

「有識者会議に諮りつつ」

石垣部会とは別か？

村木：石垣部会と全体部会

高瀬：そう書いておいたほうが誤解がない

小濱：天守の石垣 精力的に調査されている

ウ 調査・検討

調査の結果に基づいて、孕み出しの安定性を検討

レーダー探査の例 これだけの資料で安全性が議論できるのか・  
石垣の措置をどう検討するのか

村木：石垣のレーダー探査 5メートルピッチでやってきた

大きな空洞は確認できていない

栗石のゆるみはある

今回の調査で追認、確認する 調査の目的

そこから先 読み方は他城郭を参考にして

石垣部会で工学系先生からご教授いただいて

小濱：私の希望

レーダー探査 石垣の厚さ、栗石の厚さ

空洞がない 孕み出しがあっても安全か？

工学的モデル化して、解析を行って

精密なモデル 理論的に評価していただきたい

空洞があるかないかだけでは

孕み出しがあっても大丈夫か？よくわからない

ある程度論理的な方法を使って

名古屋城：モデル化 工学的解析

我々のほうで 竹中のほうで工学的解析を行っている  
それだけでよいか？文化庁から指摘 考古学的解析も  
工学的解析でモデル化している  
いったんは「影響は軽微である」  
レーダー探査 孕み出し詳細に検討して  
今の状態でいいのか？  
レーダーの結果がどう反映していいのか  
専門の先生に相談していきたい

小濱：レーダー探査 どの程度の信ぴょう性があるかわからない  
孕み出し ぜひ努力してやってほしい

瀬口：ほかにはどうか  
最後の東門トイレ改修

12:06

名古屋城：東門トイレ改修  
和式トイレの様式化  
車いす  
掘削はすでに掘削した範囲内  
資料6-2 工事平面図  
季節の今あるトイレ  
斜線部分 すでに掘削済み  
塗りつぶしている部分 新たに掘削  
1-13まで  
1.26平米の掘削

瀬口：ご意見は

赤羽：工事は建物解体するのか？トイレ部分だけ改修か？  
既掘削範囲 面積？深さ？

名古屋城：今あるトイレをつぶしてではなく、  
トイレの中での改修  
和式を洋式に、レイアウトを変える  
面積と深さを書いてある

赤羽：改修

深さは既存の深さまでは掘らないということか

名古屋城：配管まで 既存まで

赤羽：現状変更のやり方は？

名古屋城：未告示地区ではあるが、通常の現状変更に準じてやる

赤羽：わかった

丸山：二回ほど改修された

工事図面はあるのか？600 ミリ コンクリートを打った

名古屋城：配管の図面はある

配管面積に応じたもの

丸山：斜めはコンクリート 既設掘削範囲

中の白いのは？

名古屋城：資料が残っていない

丸山：普通工事するときには全体を掘り下げる

変な感じがする

黒く塗られたところだけ掘削する

大したことはないと思うが、現状変更 未告示のところ

小さいところ 注意していただかないと、一部出てくるかも

過去何もなかったかどうか

わずかでも緊張感をもってやって

名古屋城：白いところ

資料として残っていない

推定の域 あえて白くした

丸山：なにかへんな感じ

名古屋城：過去 2 回改修

昭和 50 年代 建物を建てた

平成 16 年、21 年内部掘削範囲



建物本体部分 表示していない 白抜き

丸山：何かやった時に掘削している  
ここだけやっていないように見える  
範囲を出したほうがよい

瀬口：どういう理由で白抜きにしたか書いたほうがよい  
担当者としては満足する  
いす式の便器にする  
配管部まで掘り下げる  
なければ終わる  
参考資料 現状変更の実績

鈴木：以上で終わる  
12：19